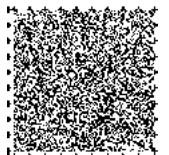


令和6年度

ふくおか
共助社会づくり
表彰

多様な主体が
知恵や力を持ち寄った取組を紹介



はじめに

福岡県では、NPOや企業、行政などの多様な主体が互いに協力し支え合う「共助社会」の実現に向け、さまざまな取組を行っています。

「ふくおか共助社会づくり表彰」は、共助社会づくりを促進するため、多様な主体の先駆的な協働の取組や、他の模範となる地域貢献活動を表彰するもので、今回で17回目となります。

今年度は、有識者による選考の結果、3件の取組を表彰する運びとなりました。

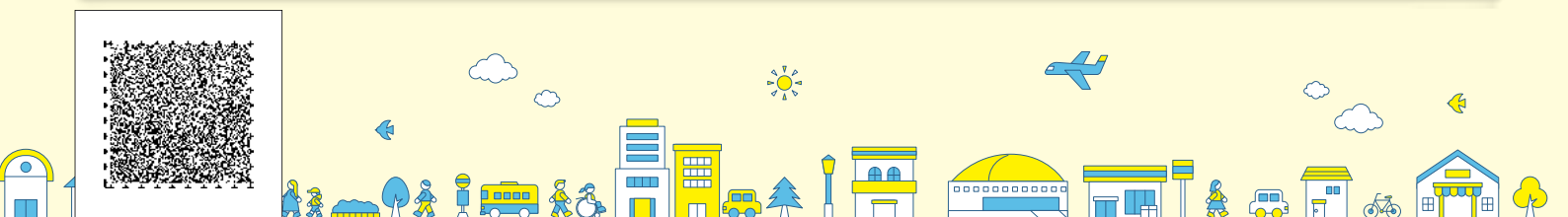
「SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクト」、「命の重みを感じられる地域の繋がりを重視した人間力の形成」、「地域資源のやまももを育て、伝え、商品の魅力を高める協働事業」のいずれの取組も、多様な主体が協働し、それぞれの専門性やネットワークを最大限に生かしながら活動されており、着実な成果に結びつけています。

この表彰をきっかけとして、受賞された皆さまの活躍の場がさらに広がるとともに、多様な主体による協働がますます活発になり、これからの本県の共助社会づくりに寄与することを大いに期待しています。



令和7年1月

福岡県知事
服部 誠太郎



ふくおか共助社会づくり表彰について

◆ 表彰の趣旨

この表彰は、多様な主体による優れた他の模範となる協働の取組を表彰し、NPO、企業等多様な主体の社会貢献活動を促進するとともに、本県の共助社会づくりに資することを目的に行っています。

◆ 対象となる取組

表彰の対象となる取組は、多様な主体が、地域の課題を解決するため、互いの特性を生かしながら、協力して行う協働の取組です。

◆ 表彰する取組の決定

応募があった取組の中から、外部有識者を中心に構成する「ふくおか共助社会づくり表彰選考委員会」の選考を経て決定します。

【審査基準】

1 協働の効果

各団体が明確な役割分担のもと、それぞれの特性を生かすことで相乗効果が生み出されているか

2 社会貢献性

現状・課題の把握や解決に向けた手法が的確で、地域や社会に公益性の高い成果が生み出されているか

3 創意性

専門的な知識や地域の特性を生かすなど、創意工夫のある取組であるか

4 継続性・発展性

取組の継続や他への波及効果など、今後の広がりが期待できる取組であるか

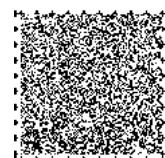
5 特記事項

中長期にわたる活動実績など特筆すべき優れた点(加点要素)があるか

◆ 表彰の募集

募集は、例年4月頃から開始しており、次回表彰の募集については、詳細が決まり次第、コラボステーション福岡のHP等でご案内する予定です。

なお、表彰された取組は、県のHP等を通じ、広く県民の皆様を紹介いたします。自薦、他薦を問わず受け付けておりますので、皆さま奮ってご応募ください。



受賞取組・団体一覧(3件17団体)



SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクト

4ページ

NPO法人SDGs Spiral
竹凜共振プロジェクト
私たちの未来環境プロジェクト



命の重みを感じられる 地域の繋がりを重視した人間力の形成

5ページ

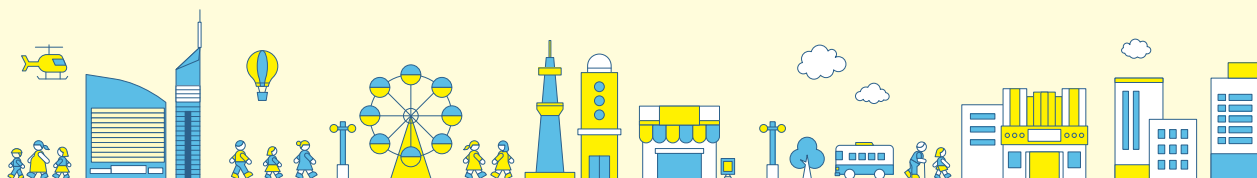
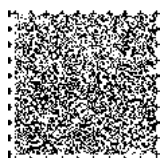
特定非営利活動法人いとしまこども食堂 ほっこり
特定非営利活動法人 糸島ハートの会
九州大学ボランティアサークル(きゅうぼら)
九州大学BBS会
NPOゆるまちネットワーク



地域資源のやまももを育て、伝え、 商品の魅力を高める協働事業

6ページ

やまももの森プロジェクト
株式会社南畑ぼうぶら会議
やまももがたり
株式会社ホーホゥ
株式会社 愛しとーと
福岡女子商業高等学校
株式会社ブリッジ
那珂川市商工会 女性部
日下部中小企業診断士事務所



SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクト

北九州市は山や海など自然豊かな地域であると同時に、放置竹林の拡大や海洋ゴミの増加などの環境問題が発生している。また、日本の子どもは諸外国と比べて自己肯定感が低く、特に障がいのある子どもたちは失敗や成功体験の少なさから、社会との関わりに消極的な傾向がある。

そこで、NPO法人SDGs Spiralが中心となり、環境保全活動を行う団体と協働し、全ての子どもたちが参加できる竹林整備、海岸清掃、ワークショップの三部構成による環境教育プログラムを実施している。竹林整備から不要になった竹、海岸清掃で収集したシーグラスやプラスチック等を材料とした万華鏡づくりワークショップを開催し、これまで延べ1,200名の子どもたちがSDGs万華鏡“KAGUYA”を制作している。

万華鏡づくりワークショップには、地域の高齢者も参加し、世代を超えた交流の場にもなっている。

SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクトによる環境教育の取組は全国・世界へと広がっており、今後も各地域の課題となっている資源を活用しながら様々な課題の解決に取り組んでいく。



SDGs万華鏡“KAGUYA”



海岸清掃での集合写真



竹林整備での集合写真

団体名

NPO NPO法人SDGs Spiral
事業の企画・運営

団体 竹凜共振プロジェクト
竹林整備活動への助言、講師

私たちの未来環境プロジェクト
海岸清掃活動への助言、講師

読者へのメッセージ

万華鏡で綺麗な模様を見るためには、自分で万華鏡を動かさなければなりません。「自分から動き出すことで、課題や困難を克服し、物事が変わっていく」ということをSDGs万華鏡“KAGUYA”を通して体感して欲しいと思っています。

NPO法人SDGs Spiral
代表・理事長

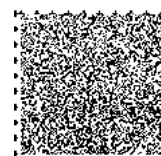
小川 亮さん



お問い合わせ先

NPO法人SDGs Spiral

〒802-0981 福岡県北九州市小倉南区企救丘二丁目3番2-115号
TEL:090-5936-2362
MAIL:sdgs.spiral@gmail.com



命の重みを感じられる地域の繋がりを重視した人間力の形成

糸島市において、ひとり親家庭や経済的困窮世帯、孤立、孤食等の悩みを抱えている人を対象とし、NPOと九州大学のサークルが協働で、様々な地域課題の解決に取り組んでいる。

地域福祉センター等で定期的にこども食堂を開催し、食事の提供のほか、大学生ボランティアによる無料学習支援を実施しており、令和5年度には子どもたちや高齢者を含め延べ2,065名が参加した。また、いとしまこども食堂 ほっこりの参加者と大学生で、抗がん剤治療の副作用に悩むがん患者に提供するためにタオル帽子を製作するなど、こども食堂が子どもたちへの支援の場としてだけではなく、障がい者、高齢者、外国人等の多様な人々が交流する場となっている。

高齢化や資金難で活動が困難になった団体同士が連携して支え合う体制を構築することで、近隣の福岡市においても定期的なフードパントリーの開催や炊き出し支援を実施する等、活動の幅も広がっている。

今後も複数の団体がそれぞれの強みを活かし、情報交換や人・モノの支援を行うことで、地域への幅広い支援や社会貢献活動を展開していく。



いとしまこども食堂 ほっこりで、食事を作る様子



こども食堂で、タオル帽子を作成する様子



冷泉公園での炊き出しと相談会の様子

団体名

N
P
O

特定非営利活動法人いとしまこども食堂 ほっこり

こども食堂開催、食材配布

特定非営利活動法人 糸島ハートの会

タオル帽子作成、発送

団
体

NPOゆるまちネットワーク

公園での炊き出し、弁当配布

九州大学ボランティアサークル(きゅうぼら)

こども食堂企画運営、地域交流

九州大学BBS会

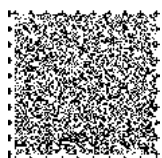
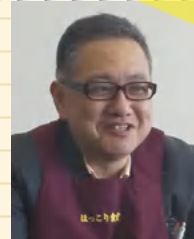
こども食堂企画運営、無料学習会開催

読者へのメッセージ

他人の笑顔が自分の喜びに感じられる。私たちは、こどもだけでなく、全ての方の笑顔・尊厳を大切に、人に寄り添うことでさまざまな問題の解決を目指しています。その想いを形にし、「誰もが取り残されない社会の実現と命の大切さ」を伝えるために、ネットワークを作りました。

特定非営利活動法人
いとしまこども食堂 ほっこり
代表理事

笹 淵 隆 広 さん



お問い合わせ先

特定非営利活動法人いとしまこども食堂 ほっこり

〒819-1105 福岡県糸島市潤1-19-14

TEL:090-7385-4779

URL: <https://itoshima-hok.com/>

地域資源のやまももを育て、伝え、商品の魅力を高める協働事業

那珂川市では“やまもも”が市の木として制定され広く栽培されてきた歴史があるが、高齢化により育成農家が減少し、市民の間でも認知度が低下している。

そこで、市民団体や複数の地元企業、高等学校、商工会が協働し、“やまもも”の認知度向上や特産品化を目指した活動を実施。市内外から年間延べ約200人のボランティアが参加し、育成作業や収穫を行い、地元企業や店舗の協力により、収穫した実を使ったジャムやタルト等の多くの商品の開発、販売に成功している。

また、高校生がインターンシップとして植樹から商品販売までの一連の活動に参画することで、「やまももキャンディ」の商品開発やオリジナルTシャツのデザインに若者の感覚を反映することができ、学生はビジネス感覚を磨く経験ができています。

令和6年度にはクラウドファンディングによる資金確保にも成功しており、今後も“やまもも”の認知度向上と特産品化のため、ボランティアの協力を得ながら取組を継続・拡大していく。



耕作放棄地を整備し、女子高生やボランティアでやまももの苗を植樹



6月中旬からボランティアの皆さんと収穫作業



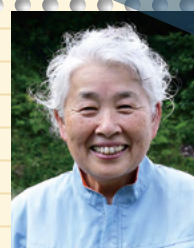
やまももを使った開発商品

団体名	
団体	やまももの森プロジェクト 事業の総括管理 やまももがたり やまもも育成事業の事務局、商品販売 那珂川市商工会 女性部 販路拡大支援
	福岡女子商業高等学校 やまももの育成、収穫、商品開発、商品販売、商品PR
	株式会社南畑ぼうぶら会議 商品開発、販売 株式会社ホーホウ 情報発信、広報活動
企業	株式会社 愛しとと ボランティア募集、商品開発・販路拡大支援 株式会社ブリッジ ボランティア募集、商品開発・販路拡大支援
	日下部中小企業診断士事務所 商品開発、販路拡大支援やSNS、HPの管理

読者へのメッセージ

やまももの森プロジェクトは、「那珂川市の木やまもも」を植樹・育成等の活動をしながら「やまもも」を那珂川市のブランド商品とするための商品開発も進めております。季節限定のやまももソフトクリームやジュース、粒感のあるオリジナルティジャムは那珂川市の中ノ島公園の直売所でお求め頂けます。

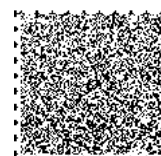
やまももの森プロジェクト
事務局長
山崎 美代子さん



お問い合わせ先

やまももの森プロジェクト

〒811-1235 福岡県那珂川市成竹885-1
 TEL:092-952-1557
 URL: <https://www.yamamomopt.com/>





福岡県

お問い合わせ / アクセス

コラボステーション福岡

NPO・ボランティア団体、企業、行政、大学などの多様な主体間の協働を促進し、共助社会づくりを推進する拠点です

住所 〒812-8577
福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁1F

連絡先 TEL 092-643-3938 FAX 092-643-3848
Mail kyodo@pref.fukuoka.lg.jp

アクセス ① JR「吉塚」駅より徒歩約8分
② 西鉄バス「県庁前」バス停より徒歩約1分
③ 福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」より徒歩約5分

ホームページ <https://www.csf.pref.fukuoka.lg.jp/>

コラボステーション

検索

